

会費・カンパのお願い

北限のジュゴンを見守る会・事務局

読者のみなさん

沖縄のジュゴンにいよいよ絶滅の危機が迫っています。安部政権がこれまでのどの政権よりも強硬な姿勢で、辺野古新基地建設を一気に推し進めようとしているからです。

安部首相は普天間基地の「県内移設」に反対する「オール沖縄の県民の総意」を踏みにじり、ただもう「日米合意の推進」を振りかざして、美しい辺野古・大浦湾の海を「本土」からも持ち込む莫大な土砂でつぶしてしまうため、去る3月22日、沖縄県に「埋め立て許可」を申請しました。

政府は本年内に仲井真県知事に「埋め立て許可」を出させ、来年1月とされる名護市長選で基地誘致派の市長を当選させようとしています。

これに対し沖縄の人びとは「辺野古の海にも陸にも基地をつくらせない」と宣言し、その公約をしっかりと守っている稲嶺進現名護市長を先頭に力強い反撃を続けています。

みなさん、沖縄島で最も風光明媚で生物多様性に富み、ジュゴンの生息域になっている辺野古・大浦湾の海を守り抜くため、どうか力をお貸しください。

当会の財政は決して豊かではありません。機関紙『イタジイの森に抱かれて……』の発行やジュゴンに関する知識の普及、そしてジュゴンの生息環境調査の持続などのため、会費やカンパをお送りくださるよう、事務局一同、心からお願いいたします。

事務局は全員ボランティアで日々がんばっています。ジュゴンたちは私たちを励ますかのようにときどき姿を見せてくれます。

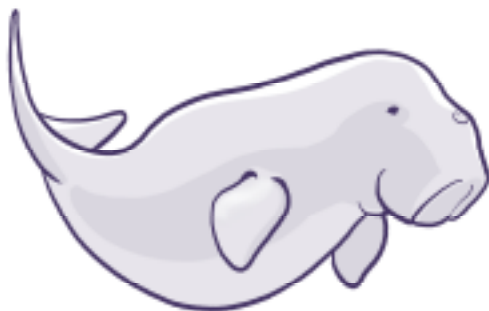
私たちの努力をご支援ください。重ねてお願い申し上げます。

-
- * 郵便振替口座 口座番号 00160-8-761009
口座名 井上澄夫事務所
(井上澄夫は当会事務局の会計担当者です。)
 - * 銀行口座 きよせ みずほ銀行・清瀬支店 (店番号731)
普通預金口座 1148731
口座名 北限のジュゴンを見守る会

年会費

一般会員	3,000円
ジュニア(18歳以下)	1,500円
ファミリー	5,000円
サポーター	10,000円

会員のみなさまには会報『イタジイの森に抱かれて』をお送りします。





ジュゴンの見える丘からの眺め（10年7月15日）
名護市の東端。このように森に覆われてこそ海も生きていることができる。
写真の上側が大浦湾。そこに白く見える建物群がキャンブシユワブ

© 山本英夫

イタジイの森に抱かれて

やんばるの森に初めて出会った時
おとぎ話に出てくるようなイタジイの木立ちの様子に
目を奪われました。
4月のやんばるの森は
イタジイの木々が輝き
それは美しいと誰もが語ります。
そして、やんばるの森に抱かれたこの海に
サンゴやウミクサは育ち
北限のジュゴンが子育てをしています。
多種多様な生きものがいのちを育む
豊かな生態系を維持してこそ
ほんとうの沖縄の自立の道筋が
まるでジュゴンの食み跡のように
青い海の底にくっきりと現れてくるのではないのでしょうか。
「ジュゴンの食み跡がいつまでも沖縄の海に消えず
イタジイの森がいつまでも輝き続けてほしい……」
そんな願いを込めてニュースレターの名前をつけました。

編集後記

- 巻頭の「緊急速報」にあるように、防衛省は辺野古埋め立てに向かってまい進しています。膨大な量の埋め立て土砂には様々な有害物質も含まれるおそれがありますが、これについての記載を求める沖縄県による要請にも不誠実極まる対応のようです。
- 強いものには従順、弱い者には傲慢で冷酷なこの国の支配者たちは「臨戦状態」を演出し続けることで「国策」に従わないものたちを非国民扱いしようとしています。
- 抵抗する術もないものを虐待し、殺し、レイプすることは、植民者、占領軍が行ってきた重大な犯罪行為です。橋下徹氏は、それらの事例を引いて日本軍による組織的レイプについて、同様なことは多くの国でなされてきたことであるとし、「従軍慰安婦制度が必要だったことは誰にでもわかる」などと倒錯した言辞を吐きました。発言が世界の笑い物になっていることを知ると言を左右にして責任逃れにつとめています。橋下氏も沖縄の声を無視して辺野古埋め立てと新しい米軍基地建設の後押しをしています。
- カナダなどでの石油生産に関わるタールサンドの問題点を指摘する根岸さんの記事、是非ご注目ください。気候変動に伴う干ばつやバイオ燃料生産のための地下水の過剰使用などによりアメリカ各地で地下水の枯渇が始まっています。いま話題になっているシェールガスやシェールオイルの生産のためにも頁岩（シェール）を砕くために高温高压の水に有害化学物質を混ぜたものを地下に注入するフラッキングという方法が使われます。膨大な量の水を使い、これを毒に変え地下水汚染をも引き起こすシェールオイル、シェールガス開発、そして、先住民族の生活と大地を犠牲にするタールサンド開発に未来はありません。
- 37、38号でお伝えした嘉陽の護岸工事は今年はじめから進行中です。事態が流動的なこともあり内容については次号で浦島さんに報告していただく予定です。
- 悪条件のなかでのアースデイ。力を合わせていただいたみなさんに感謝、感謝です。ブースへの訪問者は少なかったけれど、撒かれた種が実を結びますように！「沖縄の日」久しぶりの首都圏イベント再開です。(弥永 健一)

北限のジュゴンを見守る会

Association to Protect the Northernmost Dugong

- 沖縄事務所 (チーム・ザン連絡先)
〒905-0011 沖縄県名護市宮里4-12-8 鈴木雅子方
電話/FAX (共用) 0980-43-7027
携帯電話 090-8032-2564
沖縄事務所ブログ <http://hokugen.ti-da.net/>
調査チームブログ <http://teamzan.ti-da.net/>
- 首都圏事務所
〒352-0032 埼玉県新座市新堀2-1-7-309 井上澄夫方
電話/FAX (共用) 042-492-1641
ホームページ <http://sea-dugong.org/>
メール info@sea-dugong.org